

# 山江村 地域づくり研究所

山江村地域づくり研究所では、山江村の過去の資料を集め、村の現状のデータを収集しています。また、村の暮らしの中でICTの活用を検討することで、豊かな暮らしの実現を研究します。今回は9月の栗まつりで行ったセミナーを中心に研究所の動きについてお伝えします。

## やまえ栗を楽しむセミナー やまえ栗まつりで実施



9月24日やまえ栗まつりで研究所のブースを出展しました。ブースでは、最近のやまえ栗の新聞記事や、フランスの輸出に関するパンフレット、研究所内にある栗ライブラリーを展示。大型モニターによる2016年2月に行われた六本木の二つ星レストランを運営する下村浩司シェフの講演会「やまえ栗の未来を考える」などの動画放送を行いました。11:00からは「やまえ栗を楽しむセミナー」を開催し、やまえ栗の歴史、栽培方法、食べ方を紹介。また、銀寄と利平栗の食べ比べや、仏料理最高の名誉称号をもつ山際博美シェフが作成したやまえ栗のソースの試食を実施しました。この様子は、NHK熊本のテレビニュースでも紹介されました。

## QRコードで見る栗の生産履歴表示はじまる

05日 10月 2017  
生産履歴 (横山武・文子)



横山武さんと文子さんは1949年生まれ、1980年の土地で栗を栽培しています。栽培方法や地味も基本に忠実に守っています。栗の木は約定年一昔かかっているとのこと。大きな栗のなるように、栗の虫食いに気をつけて育て、安心して食べてほしいです。一人では限界を突破し、なごり栗を栽培しています。お二人の共通の趣味は狩猟で、栗園に恵まるとインシシは許さないとのこと。狩猟の後、自宅のシシ小屋（雄狩小屋）での保養会をするのが楽しみとのこと。

### 平成29年 やまえ堂 生産履歴書

- 履歴書作成の目的
1. 生産履歴を作成することで、より良い高品質な「やまえ栗」を生産し、安定した品質を確保する。
  2. 顧客に見える生産体制で、安心、安全な「やまえ栗」を提供する。
  3. この事により「やまえ栗」の更なるブランド化を図る事を目的とする。

提出日 平成29年10月5日

生産者氏名	横山 武	電話番号	
生産者住所	山江村 山江 200-1-101 al al al 合計		
家族構成	※家族構成を記入する場合は、欄外にその旨を記載して下さい。		
栗の投入	栗の品種	作業日	
自家産栗・購入産栗	200 kg/月	日～月 日	
肥料散布	施肥量(10a当り)	作業日	
完熟			
クワ有機配合	60 kg	月 日	
LP有機配合	kg	月 日	
緑肥	kg	月 日	
尿素	kg	月 日	
	kg	月 日	
追肥	施肥量(10a当り)	作業日	
Dd-048	20 kg	7月 日	
7	20 kg	10月 日	
	kg	月 日	
	kg	月 日	
作業	作業日	作業日	
予定作業	10月 日	～ 2月 日	
実施作業	10月 日	10月 日	7月 日
収穫開始	10月 日		

### 生産履歴のページ

上部が農家の写真  
下部が生産履歴のデータ

近年の様々な食品の問題から消費者の食への不信感が大きくなっています。そのことから、食品の生産者や生産地などを食品の安全・安心の確認することができるトレーサビリティ（生産履歴）が求められています。

そこで、やまえ栗においても、栗を購入された方に生産者や栽培情報などを確認できるように試験的に実施することにしました。今回はやまえ堂と物産館に出荷される方にご協力いただき、栽培履歴のほか、生産者の自己紹介を閲覧できるようにしました。使用方法としては、出荷する段ボールなどに下記のQRコードを貼り付ける形で、トレーサビリティを確認する際にはスマホ等でQRコードを読み取り、インターネットで生産者の紹介ページを確認します。生産者の方の自己紹介が、人柄が伝わると好評です。生産履歴について、ご自身でも始めたい方は、研究所にご相談ください。



横山武さん  
生産履歴



松尾学さん  
生産履歴



柘本勲さん  
生産履歴



嶽森吏さん  
生産履歴

## 100人委員会 観光交流部会がツアーを実施

栗まつりの熱気冷めやらぬ9月25日、観光交流部会では「日本遺産と山の香り豊かな栗の里を訪ねて」と題して、村内の名所旧跡観光と栗拾いのツアーを企画、実施しました。

当日は天候にも恵まれ、八代から参加された方も含め、21名の参加者が集まりました。

午前中はボンネットバスで合戦峰観音堂や高寺院、山田大王神社、息吹き墓を巡りました。お彼岸の御開帳期間だったため、観音堂では地元のかたの接待もありました。高寺院では住職の講話も聴くことができ、参加者のみならず案内人にとっても普段できない体験ができました。昼食は時代の駅むらやくばで「栗ご飯」を含む地元の味を楽しみ、午後は栗拾い。参加者の平均年齢は高かったものの、皆さん斜面を転がることなく、童心に帰って大きな栗の実を採取していました。

今回初めての企画ツアーで、不慣れな点多々ありましたが、「案内人が親切で良かった」という感想を多くいただきました。



## 研究所セミナー 写真の撮り方



9月16日第4回ミニセミナーを開催しました。今回のセミナーは「写真の撮り方」。スラップステックフォト（錦町）の濱田善幸氏を講師に、村内外から6名の方が参加しました。まずは先生から撮影時の基本的な事項を教わった後、参加者が撮影したいモノや、悩みを相談しました。印象的だったのは、「古いカメラでもスマホでも、うまく撮れる人は撮れるので、カメラのせいにはしないこと」という言葉でした。次に実践にうつり、参加者が日ごろ使っているスマホやデジタルカメラ、一眼レフを使い、それぞれ研究所の周りの景色や動植物を写しながら、講師からアドバイスを受けました。撮影した写真を見ながらの講評では、講師から「技術よりも何よりも、まずは写真を好きになってください」との言葉があり、参加者はその思いをしっかり受け止めたようでした。

随時募集

## 村政モニター始まる - インターネットアンケート -

山江村地域づくり研究所では、村の政策に関する周知の度合いや、ニーズ、また緊急課題等に関する意見を迅速に把握し、政策や事業の意思決定の基礎資料とすることを目的に村政モニターを実施しています。村政に関心があり、協力の意思をお持ちの方は右記応募フォームからご応募ください。アンケートは回答時間10分程度の簡単なものです。



応募フォーム

11月の開放日

日	月	火	水	木	金	土
			①	②	3	4
5	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	11
12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	18
19	⑳	㉑	㉒	23	㉔	25
26	㉗	㉘	㉙	30		

写真のセミナーは大変好評でした。今年度もあと半分。引き続きセミナーなど開催しますので、是非ご参加ください。

村づくりの悩みやアイデアなど、どんどんご相談下さい。

〒868-0092 熊本県球磨郡山江村大字山田甲 1356-1

☎ 0966-23-3114

✉ yamae-kenkyuujiyo@outlook.jp

🌐 <http://yamae-lab.jimdo.com/>



facebook 随時更新中! 山江村地域づくり研究所 検索



山本かほり

高橋あかね

川口伸也